

# News Letter

野菜

水稻

果物

畜産

2025年  
1月

中国四国農政局  
広島県拠点

## 農業女子プロジェクトメンバー交流会in広島を開催



プロジェクトメンバー参加者、講師、関係地方参事官

「農業女子プロジェクト」は、女性農業者と企業や教育機関が連携し、農業で活躍する女性の姿を広く発信し、女性農業者の存在感を高め、職業として農業を選択する女性を増やすことを目的として、全国各地でメンバーが活動しています。

中国四国農政局広島県拠点では、広島県内の農業女子プロジェクトメンバーが親睦を深め情報交換することにより、農業女子が持つ能力を十分に発揮し共有することを目的として、令和6年12月6日（金曜日）に「令和6年度農業女子プロジェクトメンバー交流会in 広島」を開催しました。当日は、広島県内「農業女子プロジェクト」メンバーを中心にWeb参加を含めて10人が参加しました。

## 第1部「株式会社良品計画 講演会」

第1部では、株式会社 良品計画 営業本部 広島事業部 平原 美穂子さんと無印良品 広島アルパーク 部門マネージャー 山口 慶介さんから「無印良品 広島アルパーク～地域がつながる場所～」と題した講演をいただきました。

講演では、地域の消費者を対象とした収穫出荷体験・せるぷマルシェなど無印良品広島アルパークの取組や、株式会社無印良品の企業理念、目指す姿をお話いただきました。創業時から変わらない「ものづくりの原則」「あたりまえと思い込んでいることを改めて考えてみる」などについて、一言一言心に染み入る口調で話して下さいました。

参加者からは、「発信力のある良品計画さん、無印良品さんが、”形は不揃いでもそれぞれの味は変わらない”など農産物の真の魅力を消費者に伝えてもらっていることが心強く感じた。」との感想が出されました。



山口さん（左）と平原さん（右）による講演

## 第2部（びんご農業女子会）事例発表

第2部では「地域と世界をつなぐ農業女子の取り組み」と題してびんご農業女子会 事務局 先家 菜子（せんげ まこ）さんと同会副会長 吉井 知世（よしい ともよ）さんが事例発表を行いました。

栽培したアジア野菜の直売による在日外国人との多文化共生の取組、びんご農業女子会の設立のきっかけ、会としての農家への応援を、メリハリの利いたトーンで楽しく話して下さいました。

参加者からは「身土不二」を理念とした取組に共感の声が多く出されました。



先家さん（左） 吉井さん（右）

## メンバーによる自己紹介と交流

自己PRカードを基に、自己紹介とPRを行いました。



アジア野菜全般を栽培。日本在住の外国人の要望に沿う生産・販売を行いたい。農に関わる活動を通じ仲間を増やしたい。



農家を応援するため地元農家から仕入れた野菜を販売。フードマイレージ運動を展開。



水稲と少量多品目の野菜を栽培、有機JAS認証農家。農業を楽しみましょう。



ミニトマトを栽培、地域活性化を目指す農業を实践。民泊事業を運営。



梨とブドウを栽培。樹上完熟で収穫によりとってもジューシー。ブドウパフェにも挑戦してみたい。



酪農（乳牛）経営。牛乳を使った和食メニュー開発しSNSにより情報発信。教育ファームを实践。（音声参加）

酪農経営（和牛繁殖）。農でつながるコミュニティ「ミヨシのミカタ」を運営。SNSを活用し情報を発信。親子での農業体験イベントなどを開催。



水稲栽培（資源循環型農業）と和牛繁殖経営。アイガモ農法に取り組んで「見える化」の星を取得。



農家になって5年目。水稲とチンゲン菜を栽培。ふるい下米を仕入れ乳児用の菓子類を製造。



ブドウと梨を栽培し直売を行い面積拡大を目指す。購入者との交流を目的として農園でイベントを実施。（音声参加）



## そして、お待ちかねの交流フリータイム

参加したみなさんからは、時間も忘れ、自らの体験を交えて多くの意見や要望が出されました。

～参加者の声～

- ・地域で行うイベントなどの情報をメンバーで共有したいので、農政局に協力してもらいたい。
- ・将来的には県規模のマルシェを行いたい。



編集：中国四国農政局 広島県拠点  
〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30  
TEL (082)228-9676(内線306)

<農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>